



一般社団法人
日本老年療法学会
The Japan Geriatric Therapy Society

News letter

日本老年療法学会

The Japan Geriatric Therapy Society

第3回 日本老年療法学会学術集会のご案内

第3回日本老年療法学会学術集会が本年8月3日(土)から4日(日)を会期として札幌医科大学を会場に開催されます。演題の登録は既に締め切りましたが、お陰様で100を超える登録をいただいております。ご登録いただいた皆様に感謝を申し上げますとともに、活発な議論が展開されることを期待しております。

ラベンダーが咲き誇る幌見峠から見た早朝の札幌をHPでご覧になりましたでしょうか。学術集会テーマにある「Well-beingな未来を創造する～老年療法学の挑戦～」を象徴する写真として、朝日の昇る札幌の写真を準備委員の先生方と選びました。会期中はまだこの景色がみられることでしょうか。ちなみに夜景も

素晴らしく、若い方々に人気のスポットです。

8月の札幌は平均気温が23℃程度と過ごしやすく、大通公園のビアガーデンでは多くの人々で賑わっております。短い夏ではありますが、それだけ夏を存分に味わおうとする熱気がこの時期札幌にはあります。近年は2030年開業予定の北海道新幹線の札幌延伸に向けて再開発が進み、JR札幌駅から大通、中島公園に至る札幌の中心部ではさまざまなビルが竣工し、新名所が生まれています。多くの会員や関係する皆様方にぜひ札幌の地にお越しいただき、これからの老年療法学を熱く語り合っていただきたいと思っております。準備委員一同、こころより皆様のお越しをお待ちしております。



第3回
日本老年療法学会学術集会

会長 池田 望

北海道公立大学法人
札幌医科大学
保健医療学部

事前参加
登録期間

2024年
4/16(火)～8/2(金)16:00まで

早期申込
期間

2024年
4/16(火)～6/30(日)まで

参加無料

プレイベント「若手研究者に訊くキャリア形成と日本老年療法学会」

開催日時 2024年7月19日(金)18:30～20:00(WEB開催)
コメンテーター 久米 裕 先生(秋田大学 教授 作業療法士)、鈴木 瑞恵 先生(大和大学 教授 言語聴覚士)、池田 登顕 先生(山形大学 准教授 理学療法士)
スペシャルゲスト 土井 剛彦 先生(国立長寿医療研究センター老年学・社会科学センター予防老年学研究副部長)
ファシリテーター 井平 光、横山 和樹

札幌市観光写真ライブラリー(フリー素材)の写真を以下からDLできます。

幌見峠
ビアガーデン

<https://www.sapporo.travel/sightseeing.photolibrary/area/11159/>
<https://www.sapporo.travel/sightseeing.photolibrary/area/area01/2947/>

幌見峠



ビアガーデン



第2回学術大会 受賞者のコメント



最優秀演題賞

立石 麻奈

国立長寿医療研究センター研究所
老年学・社会科学研究センター
老化疫学研究部

このたびは最優秀演題賞に選出いただき、大変光栄に存じます。非対面で身体活動を促進する支援に着目した研究を行い、身体活動量による自己管理が身体組成、身体機能の維持改善に資する可能性を示唆することが

できました。新型コロナウイルス感染症流行下では、対面での健康支援を講じることが困難な状況になりました。今回の研究が感染症流行などの緊急時の際にも健康づくりを継続できる環境整備の一助になれば幸いです。

今後も社会環境の変化にあわせて、多職種での協力による健康長寿の実現に向けた活動に携われたらと考えています。

多くの方々にご支援・ご協力をいただき、本演題発表を行うことができました。深く御礼申し上げます。



優秀演題賞

田中 寛之

大阪公立大学大学院
リハビリテーション学研究科

これまでの進行期の認知症の人に対する非薬物療法では、注意力の低下やその変動性により介入中の対象者の言動や状態(Engagement)に関する評価が可視化できておらず経験則に基づくものが多くありました。そのため、非薬物療法によってもたらした対象者の変化の背景が明確

でなく効果の詳細な検討が困難となっていました。本演題では、介入中の対象者の言動や状態であるEngagementを評価できるAssessment Scale for Engagement in Activities (ASEA)を開発し、その構造的妥当性を検証しました。

本研究で開発されたASEAは、対象者の言動や状態を数値化することができ、今後の進行期認知症に対する介入効果の分析に活用できるものであります。

今回の研究の成果が進行期の方々を対象にした臨床に少しでもお役立ちになれば幸いです。



大会長賞

音部 雄平

大阪公立大学
リハビリテーション学研究科

この度は、第二回日本老年療学会学術集会大会長賞という栄誉ある賞にご選出いただき、誠に光栄に存じます。研究のご指導をいただきました筑波大学 山田 実 先生ならびに筑波大学介護予防研究室の皆様にご心よりお礼申し上げます。

我々の研究グループでは、在宅介護者の介護負担感に着目した研究を行っており、本研究では介護状態になる前の夫婦の家事負担割合の程度が、介護状態になった後の介護負担感に影響することを報告しました。この結果は、夫の積極的な家事・育児参画により良好な夫婦関係を早期より構築しておくことが、高齢期の介護負担を減らすための要因になりうることを示唆していると考えております。

この度の受賞を励みに、微力ながら老年療学分野の発展に寄与できるよう一層精進して参ります。

動画配信企画について

理学療法分野

MCI・認知症の基礎
フレイルの基礎
栄養評価
要介護高齢者の自立支援
高齢者への心リハ
高齢者への腎リハ
心疾患・脳卒中リスク管理
脳卒中身体活動
疫学研究入門

作業療法分野

ADL評価概論
MCI・認知症の生活支援
中～重度認知症のリハ・ケア
介護高齢者の自立支援
音楽療法
回復期リハでのADL支援
高齢者の心理・精神疾患
神経行動学的ADL評価
記憶障害へのアプローチ

言語聴覚分野

摂食嚥下障害の検査・評価
摂食嚥下障害の介入
摂食嚥下障害の訓練
高齢者の摂食嚥下機能の低下
認知症のコミュニケーション障害
失語症のリハビリテーション
加齢による音声機能低下
音声障害のリハビリテーション
加齢性難聴関連

図1 主な配信予定コンテンツ

これまで日本老年療法学会では年一回の学術集会に加えて、年間複数回からなる学術研修会を企画し、会員だけでなく非会員の方も含めた学術研鑽の機会を設けてきました。この度、さらなる会員サービスの充実を図ることを目的に、基本的な老年療法学に関する教育コンテンツが視聴できるプラットフォームを作成し、2024年度から毎月複数本の動画コンテンツを配信していくこととなりました。

動画では各分野のトップランナーである理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の先生方に、各分野のトピックスについて分かりやすく解説していただいております。また、業務の合間などのスキマ時間に気軽にご視聴いただけるよう、それぞれ20～30分程度の短めの動画で構成されています。毎月複数分野の動画が公開される予定で、初回は2024年7月の配信予定となっています(図1)。是非本動画コンテンツをご視聴いただき、皆様の臨床・学術のスキルアップのきっかけになれば幸いです。初回配信予定のコンテンツでは、高齢脳卒中者に対するリハビリテーション実施中のリスク管理について私が解説しています。(図2)

なお本サービスは会員の方向けのみとなっております。非会員の方は是非日本老年療法学会にご入会いただき、ご視聴いただければ幸いです。

野添 匡史

関西医科大学
リハビリテーション学部

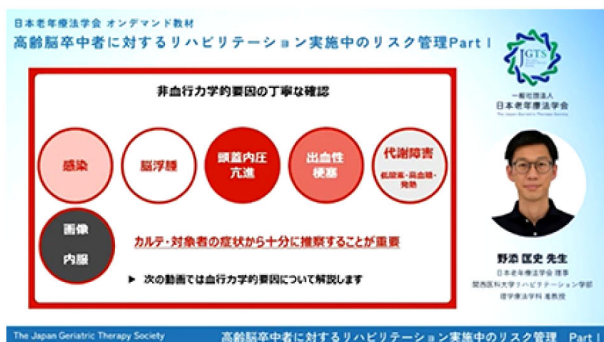


図2

学会誌編集委員長のご挨拶

日本老年療法学会の会員の皆様

平素より学会活動へのご協力、誠にありがとうございます。編集委員長として、今回のニュースレターに寄稿させていただきます。

私は2023年7月1日から、山田 実 前編集委員長の後任として編集委員長に就任させていただきました。何卒よろしくお願い申し上げます。

日本老年療法学会は、高齢者の健康長寿を目指し、様々な学問領域や職種 of 専門家が集まり、知見を共有し合う場として設立されました。高齢化が進む現代社会において、高齢者のリハビリテーションや機能保持、障がいの予防と改善はますます重要なテーマとなっています。本学会では、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医師、看護師、薬剤師、管理

栄養士、社会福祉士など、幅広い職種が一体となり、高齢者の健康と福祉に貢献していくことを目指しています。

本学会誌では、老年療法学の発展に寄与する学際的で質の高い論文の投稿を歓迎しております。編集委員や査読委員は学際的な研究者により構成されており、日々多くの論文を投稿いただいています。本誌はWeb掲載のオープンジャーナルスタイルを取っておりますが、近年、国際誌に見られるような高額な掲載料は必要とせず、学会員であれば採択後は、無料で掲載することが可能です。

皆様の普段の取り組みをぜひ、学術論文としてご投稿いただきますよう、よろしくお願いいたします。

日本老年療法学会誌
編集長 神谷 健太郎



神谷 健太郎

北里大学
医療衛生学部



日本老年療法学会

The Japan Geriatric Therapy Society

日本老年療法学会ニュースレター [2024年6月]

【編集・発行人】 日本老年療法学会広報委員会
土井・井上・石田・石橋・小川・田宮・永見・福岡・三栖・丸田・宮田
一杉・甘粕・川端・大竹・大坪・大館・福田・前田

【発行所】 一般社団法人日本老年療法学会
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1パレスサイドビル 毎日学術フォーラム内

【事務局】 一般社団法人日本老年療法学会
TEL:03-6267-4550 FAX:03-6267-4555 Email:maf-jgts@mynavi.jp